

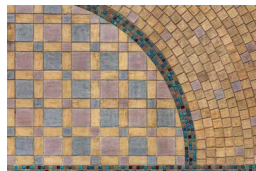


開館40周年記念
Commemorating the Museum's 40th Anniversary



Light

Bath Room



Tile

旧朝香宮邸の素の姿、
お見せします



Vase Lumineux Rapin



旧朝香宮邸を読み解く

A to Z



The A to Z Guide to
the Former Residence of
Prince Asaka

Design



Garden

この館を解き明かす
キーワードから
展覧会



René Lalique

Art Deco



Cultural Property



Floor



2024年2月17日(土) → 5月12日(日)

開館時間 | 10:00-18:00 (入館は閉館の30分前まで) *2024年3月22日(金)、23日(土)、29日(金)、30日(土)は夜間開館のため20:00まで開館 (入館は19:30まで)
Exhibition period: Saturday, February 17 - Sunday, May 12, 2024 Hours: 10:00-18:00 *Last admission at 17:30 March 22, 23, 29 and 30 opening until 20:00 (Last admission at 19:30)
休館日 | 毎週月曜日 *ただし、4月29日・5月6日は開館、4月30日(火)・5月7日(火)は休館 Closed: Mondays (except April 29, May 6), April 30, May 7

主催 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館 協力 | ギャラリー小柳 年間協賛 | 戸田建設株式会社、ブルームバーグ L.P. Bloomberg Van Cleef & Arpels



開館40周年記念 旧朝香宮邸を読み解く A to Z

Commemorating the Museum's
40th Anniversary

The A to Z Guide to the Former Residence of Prince Asaka

旧朝香宮邸——。1933年(昭和8)に竣工したこの建物は、皇族・朝香宮家の邸宅として、また外務大臣・首相の公邸や迎賓館として、時代とともに役割を変えて様々な顔を見せながらも今日たくさんの方々をお迎えしています。建設当初の姿を留めた旧朝香宮邸は、現在では特別で豊かな時間をお楽しみいただける美術館という一面のみならず、国指定の重要文化財という特性も兼ね備え、活用と保存を調和・両立させた存在と言えます。

開館40周年を記念して開催する本展は、改めて旧朝香宮邸をじっくりと読み解く趣旨の展覧会です。建築技法、建設に携わった人々、室内意匠や素材、各時代にまつわるエピソード等、アルファベットのAからZを頭文字に持つキーワードをピックアップして解説し、皆さまには新たな見どころや魅力を発見しながら回っていただきます。

今回、可能な限り素のままの旧朝香宮邸をお見せして、建築空間との対話ひとつひとつを大切に考えていきます。今までに来館されたことがある方も、まだ見たことがない!という方も、この機会にぜひご来館いただき、建築そのものを存分にご堪能ください。当館が重ねてきた歴史や活動へのご理解を深めていただけるきっかけになりましたら嬉しく思います。

To commemorate the museum's fortieth anniversary, we are holding an exhibition that analyzes and interprets anew the former residence of Prince Asaka. The architectural techniques, the people who were engaged in its construction, the interior designs and materials, anecdotes about the residence—we invite you to collect the keywords, from A to Z, scattered over the former residence and, through those many discoveries.

ゲストアーティスト

Guest Artists

伊藤公象 (1932-) / 須田悦弘 (1969-)

Kosho Ito

Yoshihiro Suda



土を素材とした陶作品で独自の造形世界を追求し、空間や環境によって有機的な変容を見せるインスタレーションで知られる伊藤公象と、木彫による精巧で緻密な花や草木を思いがけない場所に配し、空間全体に静かな驚きをもたらす須田悦弘。本展では2人の作家をゲストアーティストに迎え、旧朝香宮邸をさらに深く読み解く手がかりとなるような作品を紹介します。

左 | 伊藤公象「土の襲」-白い光景- (参考図版)

右 | 須田悦弘「野菊」2023年、木に彩色

入館料 Admission

一般 Adults	¥1,400 (¥1,120)
大学生(専修・各種専門学校含む) College and vocational students	¥1,120 (¥890)
中・高校生 Junior high and high school students	¥700 (¥560)
65歳以上 Senior (65 and over)	¥700 (¥560)

本展はオンラインによる事前予約制を導入しています。チケット販売に関する最新情報は、当館ウェブサイトをご確認ください。

Online reservation is recommended for the exhibition. Please see our websites for more detail about the admission.

- オンラインでの予約が難しい方は、東京都庭園美術館正門チケットカウンターまで直接お越しください。当日分の入場枠でご案内しますが、当日の混雑状況によりご希望の時間で入場できない場合や、入場をお断りする可能性があります。●()内は20名以上の団体料金
- 小学生以下および都内在住の中学生は無料 ●身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者2名は無料 ●教育活動として教師が引率する都内の小・中・高校生および教師は無料(事前申請が必要)
- 第3水曜日(シルバーデー)は65歳以上の方は無料

写真撮影について

会期中、会場内の写真撮影が可能です。諸注意をご確認いただき、撮影をお楽しみください。

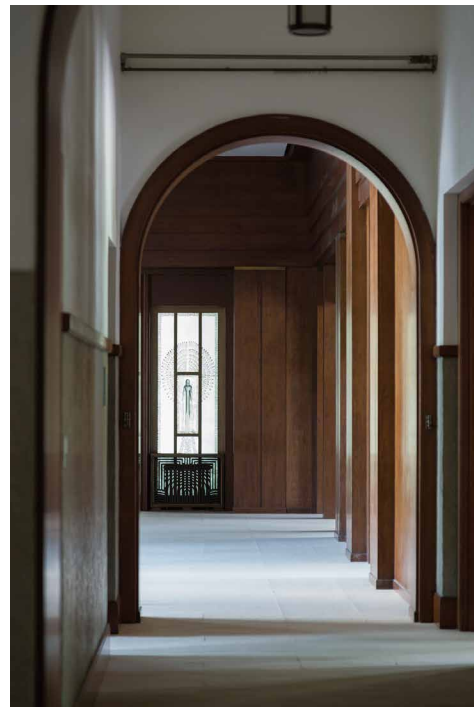
記載内容に変更が生じる場合がございます。最新情報および詳細は当館のウェブサイトにてご確認ください。



東京都庭園美術館本館 妃殿下寝室

ウインターガーデン公開

会期中、本館3階のウインターガーデンを特別公開します。温室として設計されたこの部屋は、日当たりの良い最上階に位置し、花台や水道の蛇口、排水口が設けられています。黒と白の市松模様が目印の印象的なモダンな設えにご注目ください。



東京都庭園美術館本館 大広間

関連プログラム

フラットデー

障害のある方も、赤ちゃん連れの方も、だれもが気兼ねなく来館できるプログラム

東京都庭園美術館は、あらゆる方にとって居心地の良い場となることを目指し、来館するすべての人がフラットに、安心して楽しめる環境づくりに取り組んでいます。

多くの人で賑わう場所が苦手な方や車椅子の方や介助が必要な方も安心の「ゆったり鑑賞日」。赤ちゃん連れの方がベビーカーを利用できる「ベビーカー」を開催します。当日はオンラインチケットをご予約・購入済の方、障害者手帳等をお持ちの方や各種割引が適用される方、無料対象の方以外はお入りいただけません。あらかじめご了承ください。

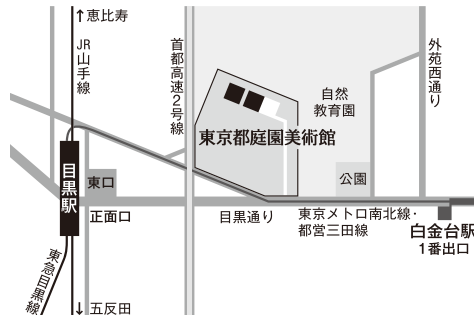
●「ゆったり鑑賞日」

日時 | 2024年3月13日(水) 10:00-18:00 (最終入館17:30)

●「ベビーカー」

日時 | 2024年3月27日(水) 10:00-14:00

その他、展覧会会期中に開催されるプログラムは随時追加される予定です。詳細は当館ウェブサイトにてお知らせいたします。



アクセス

[目黒駅] JR山手線 東口 / 東急目黒線 正面口より徒歩7分

[白金台駅] 都営三田線 / 東京メトロ南北線 1番出口より徒歩6分
*エレベーターをご利用の場合は2番出口より徒歩8分

東京都庭園美術館

TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM

〒108-0071 東京都港区白金台5-21-9

050-5541-8600 (ハローダイヤル)

5-21-9, Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo Tel +81 (0)50 5541 8600

www.teien-art-museum.ne.jp SNS @teienartmuseum